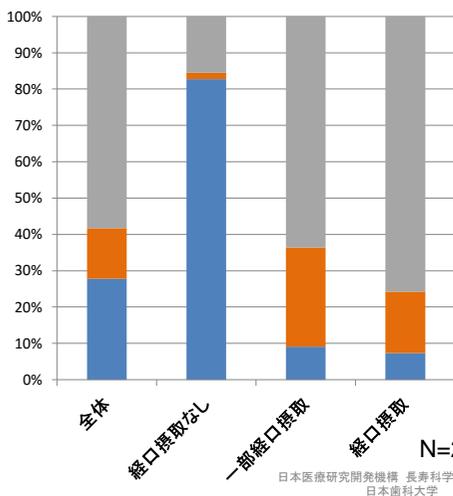


地域在住高齢者の摂食嚥下障害に関する実態調査
 摂食状況、摂取食形態の実態調査

推奨レベルと摂食状況の間には
 大きな乖離がみられる



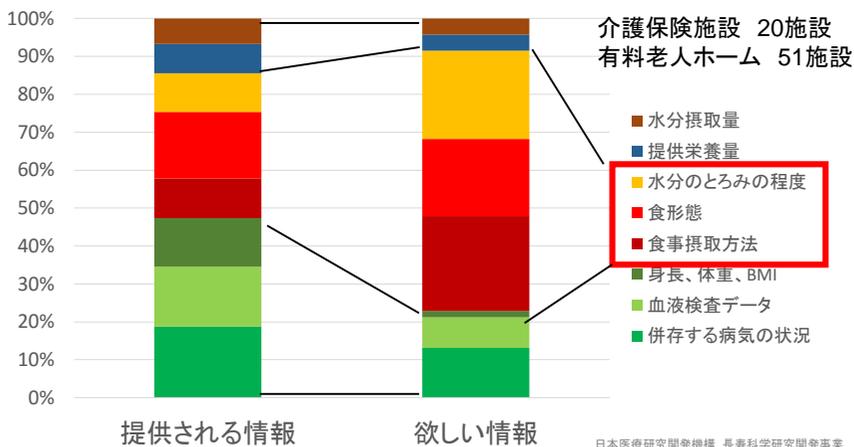
在宅訪問を行った摂食嚥下障害患者において
 摂食嚥下機能の推奨レベルと摂食状況の間には大きな乖離がみられる

地域における摂食嚥下、栄養支援の問題点の抽出

肺炎リスク者に対する必要な情報提供に関する調査

欲しい情報が届いていない

肺炎発症者が再入所した時に
 提供される情報と欲しい情報



地域における摂食嚥下、栄養支援の問題点の抽出

肺炎リスク者に対する必要な情報提供に関する調査

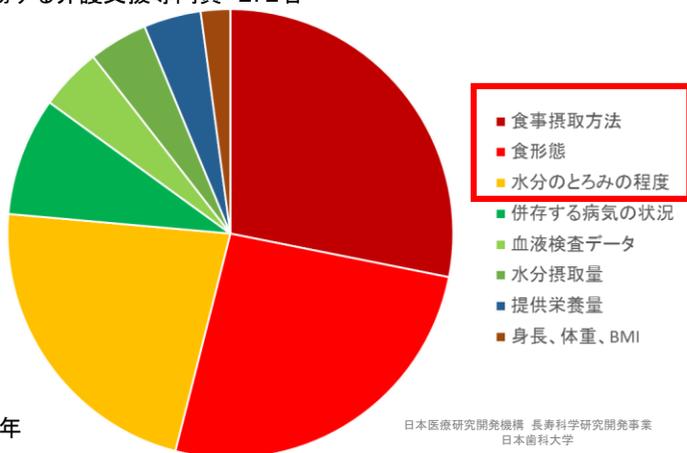
食形態、とろみの具合が知りたい

肺炎既往がある者のサービスを担当した時に
どんな情報がほしいですか？

対象：東京都内に勤務する介護支援専門員 272名

うち、272名

病院 5名
老人施設 69名
在宅関係 157名
その他 21名



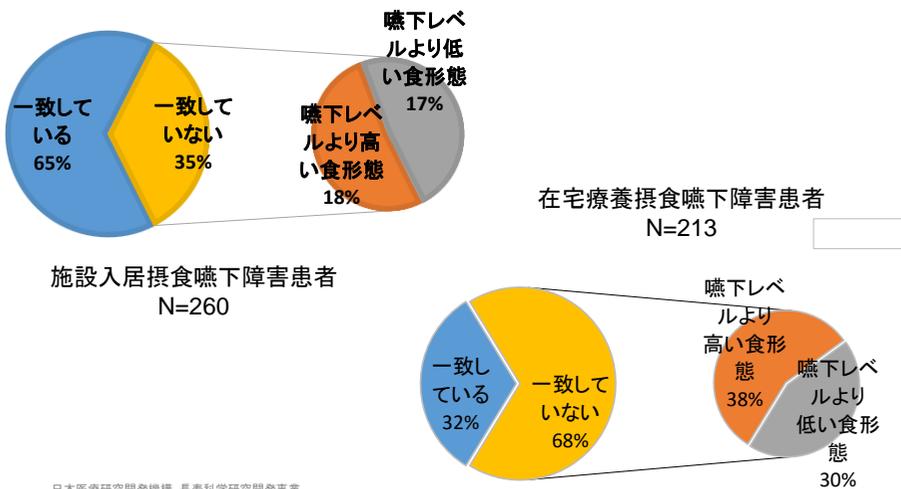
経験年数 中央値 5年

日本医療研究開発機構 長寿科学研究開発事業
日本歯科大学

地域在住高齢者の摂食嚥下障害に関する実態調査

摂食状況、摂取食形態の実態調査

摂食嚥下機能に合致した食形態を 摂取している者は少ない



日本医療研究開発機構 長寿科学研究開発事業
日本歯科大学